

都道府県名：福島県 団体名：西郷村立川谷小学校・川谷中学校

地域

本校は、那須連山のふもとの高原地域にある西郷村の西部、川谷地区に位置している。東北新幹線新白河駅から車で約20分、住宅地、田園風景、手つかずの原生林が広がっており、高原の環境を生かして高原野菜の栽培や酪農が行われている。

経緯

平成31年4月より小中一貫校となった本校は、阿武隈川源流を学区内に持ち、小学校では平成11年度より阿武隈川河口のある宮城県亘理町立荒浜小学校との交流学习をスタートさせると共に、中学校では継続して阿武隈川村内各地点での水質調査等と学区内河川の清掃活動を実施してきた。

功績内容

小・中学校を通して、阿武隈川での清掃活動、河口地域の学校との交流学习(流域による河川の姿の違いを体感等)などの上下流交流や、水質調査や河川周辺の植生調査など、地域と連携し水資源の保全活動に取り組み、子どものうちから水資源の大切さを学ぶ機会を創出している。

【小学校】

- ・荒浜小を受け入れ、阿武隈川源流探検(7月)
- ・荒浜小へ訪問し、阿武隈川河口見学、漁船乗船体験・はらこ飯調理実習(9月)

【中学校】

- ・全校生徒による阿武隈川周辺の清掃活動「キレイにしよう大作戦」(7月)
- ・全校生徒による阿武隈川上流(西郷瀨)での水質予備調査(7月)
- ・中学1・2年生による阿武隈川上流(西郷瀨)周辺での水棲生物等調査(8～9月)
- ・中学3年生による阿武隈川上流(西郷瀨)周辺での植生調査(9月)
- ・文化祭にて、小学生・保護者・地域の方々に向け、水質調査結果等を発表(10月)

